

# 紅葉が最高の軽井沢

## 部屋の中

紅葉は、例年 10 月 20 日頃ですが、夏の猛暑で 1 週間程遅れていました。丁度、今が最高です。軽井沢は、もみじが美しく、私の両手が届かない大木のもみじは、落葉で半径 7～8 m に赤いジュータンを敷いたように染まります。続いて、京都の名宮のもみじ(実生を転勤の都度移設し樹齢 45 年)が頂上から紅付き初めイロハ栴を代表しています。目が覚め書斎や寝室の窓を開けると、紅付いた樹木の赤、黄、茶、緑のコントラストは言葉が見つかりません。また、リビングの窓を全開して庭の景観に見とれていると、執筆作業が手に着きません。窓を開けて解放していると部屋の中にオニヤンマ、蝶々、最近は常時ヤマガラが遊びに来ます。



書斎(2F)から観る



リビングの窓を全開



部屋の中で遊んでいるヤマガラ

## 庭の花

今夏は、猛暑で雨が少なかったから、自宅に帰って留守にしていた間に、多くの珍種高山植物や宿根草が水不足で枯らしました。この季節は、高山植物もほぼ咲き終わりました。例年、リンドウは 10 月後半に咲くから、切花として自宅に持ち帰っていましたが、種が地上(地面)に落ちて新しい芽が出なかったの、昨年自然に放置していると、新芽が出てきて花が咲きました。標高 1500m のシャジンも咲き終わったところです。シャジンは、鮮やかな濃紺の花を付け好きです。標高 1000m に咲く可憐なマツムシソウは、2 年草で 1 年目は花が咲きません。今年は、沢山の種を蒔きましたから 2 年後が楽しみです。



リンドウ



シャジン



マツムシソウ

## 庭の冬支度

約 400 種の宿根草と 120 種の高山植物は、秋～冬に葉を枯らします。枯れた茶色の枯葉の側から、来春緑の新芽は色合いのバランスが見苦しいので、枯れる直前に刈り込むことで緑の地上(地面)が土一色に変わります。刈り込み後の地上が緑に見えるのは、クリスマスローズ、ムスカリ、忘れな草など冬も枯れない宿根草です。10/23、24、25 日の 3 日間台風の雨の中でビショヌレになりながら刈り取りました。何とトラック 2 台分ありました。



刈り込み前



刈り込み後



入浴時に窓を全開した外景

## 浴室

我が家の中で、建築に一番力を入れたのがお風呂です。春は、新緑を観ながらバラ風呂です。常識に欠ける私は、バラ風呂を一番に入浴したところ、女性が一番風呂だそうで、未だに家内から苦情が出ています。

夏は、2 か所の窓を全開して露天風呂気分に入浴します。四季を通しての入浴は大好きですが、何と言っても秋

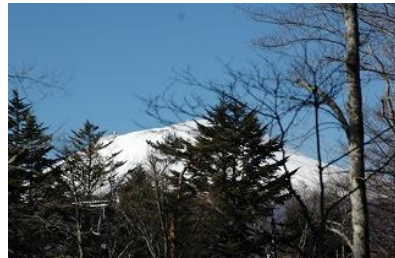
が最高です。バラ風呂は一般的に知られていますが、リンゴ風呂は余り知られていないようです。リンゴ風呂は、美肌効果に加えて、血行促進、**冷え症防止、改善、リラックス効果があります**。リンゴの香りが室内一面に漂い、外景とマッチングして秋そのものです。教え子から、『入浴後のリンゴはどうされていますか？ 捨てるとモッタイナイです』のQ(質問)に対し、『食べてみたが、美味しくなかったので、捨てています』贅沢ですが、温泉に入浴した気分時々リンゴ風呂をしています。冬は、銀世界の中、樹木も落葉しているから、頂上に雪景色の浅間山がハッキリ目に入ります。これまた、気分上々で冬景色を堪能しています。



バラ風呂



リンゴ風呂



雪化粧の浅間山

### トンボの湯(星野温泉)

軽井沢のスポットは、若者に人気絶頂の軽井沢駅前のアウトレットと観光客に人気のある源泉かけ流しのトンボの湯(星野温泉)です。檜が香る内湯と花崗岩が連なる露天風呂は、和を基調としています。また、美肌の湯として愛されています。現社長のお父さん(故人)の自慢話は、西武と同じ頃、軽井沢で温泉の出る広大な土地を昔から保有していることだと言う。下記写真の露天風呂の左側がサウナ室(私はのぼせるので入室したことが無い)があり、サウナ室の右側に露天風呂(写真)の3分の1程スペースがありますが、そこに入浴者が居たから、これを外してのカメラです。ですから、下記写真の露天風呂の左が3分の1程あるとご理解下さい。この日は快晴だったので、赤トンボが露天風呂の湯水面スレスレに飛んでおり紅葉と併せて風情がありました。

最近の軽井沢は、世界一の投資会社GMS社(米国)が、軽井沢の広大な山林を物色していますし、ビルゲツグループ会社の建物面積1000坪の建設が着々と進められています。2年後には、知人が3万坪の山林に自然を残した温泉付きリゾートが進められています。オリンピック開催やアベノミクス効果で土地の上昇が期待され、軽井沢は大型の建設ラッシュが続いています。



トンボの湯(玄関)



左側が露天風呂



露天風呂

### 雲場池(スワンレーク)

紅葉の見所は雲場池、別名白鳥が飛来するスワンレークと呼ばれています。例年、雲場池の紅葉は遅いのですが、丁度今が見所でした。雲場池入口の正面が、元鳩山総理の別荘が大きな鉄格子の門で観光客のカメラに人気を集めています。同池の入口左側(公衆便所の右側)の池(下記右端の写真)は、観光客から観す過されますが、中々の景観です。池の水面に紅付いた、もみじが美しく写っていました。

また、同池は中国人・韓国人ツワラーの新婚旅行先に組み込まれ、今日も花嫁姿が数組記念写真を撮っていました。

この他に、早稲田大学総合研修所、練馬区保養所、青山学院テニスコートがある1000m道路の他、軽井沢から北軽井沢に通ずる旧道も紅葉が素晴らしいです。



雲場池



左側から観る



入口左側の池